

- お客さまがご用意いただいた抗体の特異性を利用してパラフィン切片、凍結切片などの組織切片で目的のタンパク質の局在を解析する受託サービスです。

染色の条件が確立している抗体はもちろん、プロトコルが決まっていない抗体などは、抗原活化方法や抗体濃度の条件検討を行いまして、染色条件を決定します。

染色の特異性は選択した抗体で決まってしまうため、正しい抗体の選択が重要になります。

抗体がお決まりでない場合は、目的の分子名をお知らせ頂ければ、候補の抗体を検索してお知らせ致します。

免疫組織細胞化学染色 受託サービスの流れ



1次抗体の身をご用意ください。(弊社でご用意している抗体もございますので詳しくはお問合わせください。2次抗体・ネガコン抗体(1次抗体と同じアイソタイプのコントロール抗体)・発色試薬は弊社で用意致します。検出は、DABをペルオキシダーゼにより茶褐色に発色させていただきます。

免疫組織細胞化学染色

抗体条件検討を行ったのち、免疫染色本試験を行います。

● 抗体条件検討

抗体の種類によって検討に関する工程が異なることから費用が変わります。

- 弊社で経験のあるもの
- 抗体メーカーからのプロトコルの開示がないもの
- 抗体メーカーからのプロトコルの記載があるもの
- お客様(論文等)からプロトコルの指定があるもの

ご用意いただきました抗体について、染色条件検討、又は、確認染色を実施いたします。

● 免疫染色本試験

条件検討で決定した条件で、お客様の検体の染色をいたします。

染色例：免疫組織細胞化学染色

